平成21年度教育費決算額をお知らせします

平成21年度福生市一般会計及び特別会計決算額が9月の定例市議会で承認され、可決されました。

一般会計決算額は、214億5,308万5,975円で、このうち教育費に占める割合は12・6％となっており、教育費の決算額は27億307万5,890円で、前年度に比較して10・4％、約2億5,544万円の増額となりました。

平成21年度の主な事業は、教育総務費関係では、学校に登校できずに悩んでいる子どもたちに対して、適応指導教室の充実を図る学校適応指導員活用調査研究事業です。

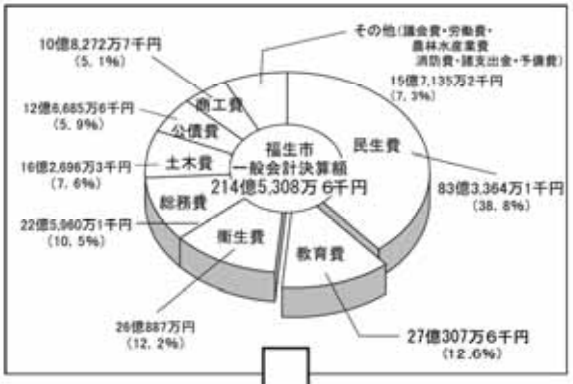
小学校費関係では、第二小学校便所改良事業、第三小学校通級指導学級設置事業、第五小学校空調設備整備事業、地上デジタル放送移行対策事業が主なものです。

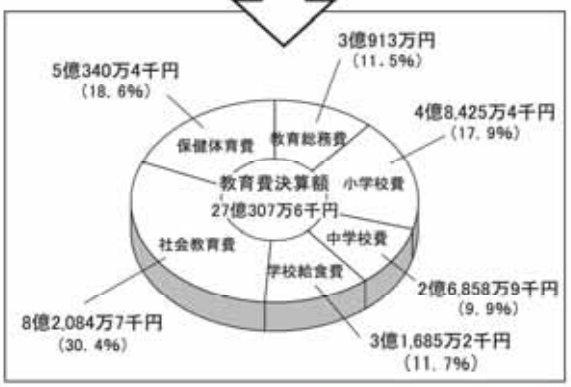
中学校費関係では、地上デジタル放送移行対策事業が主なものですが、第一中学校防音機能復旧（復機）事業、第一中学校屋上防水改良事業が完了したため、中学校費は昨年度より大幅に減額となりました。

学校給食費では、第一・第二給食センターボイラー改良工事が主なものです。

社会教育費では、ふっさっ子の広場事業の全小学校開場、市民会館小ホール舞台改良事業、市民会館屋上防水改良事業が主なものです。

保健体育費では、福生野球場整備事業、市営競技場整備事業が主なものとなります。





第二中学校のランチルームを紹介します

福生市では、中学校給食を行っていないため、昼食対策としてランチルームを各中学校に開設しています。

今回は平成16年4月にオープンしました第一中学校ランチルーム「フォレストホール」を紹介します。

緑豊かな第一中学校は、ランチルームも緑に囲まれた環境で楽しく食事ができるよう、室内は木目調の仕上げや開放的なガラス面を採用し、明るく温かみがある空間となっています。

ランチは複数メニューがあり、自ら選択できることも人気の一つですが、日替わりランチは、成長著しい中学生の食事として、国の学校給食摂取基準を参考に献立が作られています。

ランチルームの席数は200席で一年生から三年生まで、自由に利用することができ、学年集会や学年保護者会等にも利用可能な多目的ホール併用です。

和食メニュー　ランチルームの様子

問合せ　学校給食課　給食第一係　☎551・1344

教育随想

子どもの頃から図書館を利用して

福生市図書館協議会
副会長　中川　美奈子

家の近くにわかたけ図書館ができたのは、小学校四年生の時で、今から三十数年前のことでした。

それまでは、学校の図書室と都立の移動図書館「むらさき号」を利用していました。

図書館ができて、手に取ることのなかった本や、大人の本（手芸の本など）を借りられるので楽しかったのです。読んでは返し、週3～4回通っていました。

また、職員のお兄さん、お姉さんは子どもの話もきちんと聞いてくれてうれしかったのです。子どもに対してもしっかりと向かい合い、対応してくれる大人でした。

当時、小さな子も大勢利用していました。おしゃべりに来る子、絵を描きに来る子、カウンターで職員に紙芝居を読んでもらっている子など、本を借りず、遊びや職員とのふれあいに来ている子が多くいました。行くのが楽しく魅力的な場所だったと思います。

今ではなかなか難しいことだと思いますが、その子たちに対しては「そのうち、本に興味を持つようになって、一回でも借りていくようになればいいんだよ、」と長い目で見ていました。

数年前、わかぎり図書館で職員に「昔、わかたけ図書館に遊びに来てた子だよ。知ってる？」と紹介された人は、私より4～5歳下の男性で、子どもと一緒に本を借りに来ていました。

昔、図書館へ遊びに来ていた子が親になり、子を連れて利用しています。そのような人たちが大勢いるのは素晴らしいことだと思いませんか。子どもに対してこれからも長い目で見守ってほしいです。これは職員だけでなく利用者の方にも望むことです。図書館利用者が二代、三代と引き継がれているのですから、これからも利用したくなる場所であり続けてほしいです。

まだ、「図書館」を利用したことのない方、「図書館」を楽しんでみませんか。本、新聞、雑誌、マンガ、CDなどいろいろなものが置いてあります。どんなものがあるのか一度訪ねてみませんか。きっと、また行きたくなる心地よい場所となると思います。

現在、図書館は、情報や本を提供する場所として大切だと言われています。電算化され、昔よりいろいろと便利になっています。しかし、それだけが役割だと思いません。いくら電算化されてもマニュアル対応するだけにはなってほしくありません。時代が進んでも、人と人がふれあう場所としてあり続けてほしいのです。いつもやさしく迎えてくれる、楽しく魅力的な場所として。

福生第二小学校の見守り活動
福生第二小学校　副校長

福生第二小学校では、児童の安全確保のために、福生二小前交差点をはじめ、8箇所の地点で、児童の通学時に合わせて地域の方々、保護者、PTA支部委員、民生・児童委員の方々に見守り活動を行っていただいております。

本校の学区域は道幅が狭いわりに、出勤時の抜け道として利用する車も多く、とても危険と言えます。しかし、スクールゾーンの時間帯には見守りの方々が車両通行止めのバリケードを設置し、呼びかけをしていただいたり、横断旗を出したりしていただくことで安全が確保されています。

また、本校には各町会を母体としたPTAの支部組織があります。この支部の歴史は古く、今の保護者の方々の子ども時代以前から組織化されていたということです。今でも町会と学校をつなぐ大きな役割を担っており、子どもたちの生活安全上や健全育成上なくてはならないものとなっています。

例えば、学期の初めには、一年生の下校に合わせ、各支部委員やPTA役員の方々に下校時の引率をしてもらったり、離れた地域によっては、青少年健全育成協議会OBの方々に月数回、児童の出迎えをしてもらったりしています。

また、不審者情報等が入った場合には、学校からの「緊急連絡メール」の配信により、通学路に出て点検や自転車によるパトロールも即座に行っていただき、たいへん助かっています。

このように、本校の子どもたちは登下校の際に地域や保護者、外部機関の方々によって組織的に見守られ、安全への配慮がなされています。